

藤原 啓

FUJIWARA Kei

- 1899 岡山県和気郡伊里村穂浪（現・備前市穂浪）に生まれる（本名 敬二）
- 1919 神戸、京都などを経て上京、翌年出版社に就職
- 1922 不二原啓二のペンネームで処女詩集『夕の哀しみ』を出版
- 1931 結婚し一家を郷里の穂浪字井田村に構えるが、1年の内ほとんどを東京で過ごす
- 1937 文学者としての限界を感じて東京での生活を断念し、帰郷
- 1938 同郷の国文学者正宗敦夫の勧めと三村梅景の指導で備前焼を始める
- 1941 金重陶陽と親しくなり、指導を受ける
- 1943 岡山市で初個展
- 1948 備前焼の技術保存資格者（丸技）に指定
- 1954 岡山県指定重要無形文化財保持者に認定される
- 1955 第2回日本伝統工芸展初入選
- 1956 日本工芸会正会員となる
- 1958 日本工芸会理事となる
- 1962 プラハ国際陶芸展金賞
- 1963 山陽新聞（文化功労）賞
第15回岡山県文化賞
- 1969 皇居新宮殿に《備前播座壺》一对を献上
- 1970 国指定重要無形文化財保持者に認定される
- 1973 第6回岡山県三木記念賞
- 1975 備前市名誉市民となる
- 1977 藤原啓記念館開館
- 1981 岡山県名誉県民となる
- 1983 逝去